## 正誤表 (達成状況評価)

32:一橋大学

| No. | 頁数   | 誤                                 | 正                                    | 修正事由                       |
|-----|------|-----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------|
| 01  | p. 3 |                                   | 経営管理研究科経営管理専攻及び国                     |                            |
|     |      | 経営管理研究科経営管理専攻及び                   | 際企業戦略専攻の両専攻において、国                    |                            |
|     |      | 国際企業戦略専攻の両専攻において,                 | 際認証 AACSB International-The          |                            |
|     |      | 国際認証評価 (AACSB) 取得に向け              | Association to Advance Collegiate    | AACSB 認証評価のガイドラインにて、最初の言及に |
|     |      | AoL (学修の質保証) の PDCA サイク           | Schools of Business (AACSB)取得に       | は正式名称の記載が求められているため         |
|     |      | ルを通じた教育内容やカリキュラム                  | 向け AoL (学修の質保証) の PDCA サ             |                            |
|     |      | 等の見直しを継続的に実施し,                    | イクルを通じた教育内容やカリキュラ                    |                            |
|     |      |                                   | ム等の見直しを継続的に実施し,                      |                            |
| 02  |      | 2021 年7月に国公立大学としては初               | 2021 年7月に国公立大学としては初                  |                            |
|     | p. 3 | めてとなる国際認証評価(AACSB)を               | めてとなる <mark>国際認証</mark> (AACSB) を取得  |                            |
|     |      | 取得する等、質の高い教育研究を展開                 | する等, 質の高い教育研究を展開して                   |                            |
|     |      | している(同機関の認証を受けたビジ                 | いる(同機関の認証を受けたビジネス                    | 記載の統一のため                   |
|     |      | ネススクールは、全世界のビジネスス                 | スクールは、全世界のビジネススクー                    |                            |
|     |      | クールの6%未満(2021年7月現在)               | ルの6%未満(2021 年7月現在)に限ら                |                            |
|     |      | に限られる)。                           | れる)。                                 |                            |
| 03  | p. 3 | これらの取組が社会的ニーズに応え                  | これらの取組が社会的ニーズに応える                    |                            |
|     |      | るものでもあることは、その志願倍率                 | ものでもあることは、その志願倍率に                    | 誤記載のため                     |
|     |      | に表れている。(関連する中期計画 1-               | 表れている。(関連する中期計画 <u>1-1-1-</u>        | 1六日 事人 マン / こ い グ          |
|     |      | 1-1-5, 1-1-2-4, 1-1-2-6, 4-1-5-2) | <u>5,</u> 1-1-2-4, 1-1-2-6, 4-1-5-2) |                            |
| 04  | p.17 | 研究面でも、2020 年度に「四大学連               | 研究面でも、2020年度に「四大学連合                  | 脱字のため                      |
|     |      | 合ポストコロナ社会コンソーシアム」                 | ポストコロナ社会コンソーシアム」協                    | ルルナックにゅう                   |

## 正誤表 (達成状況評価)

|    |              | 協定するなど、学際的な連携を強化し   | ウナ ダケートフ かい 当際がらかいままままる   |   |
|----|--------------|---|---|---|
|    |              | , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,                         | 定 <mark>を締結</mark> するなど,学際的な連携を強                                |   |
|    |              | た。新型コロナやポストコロナ社会に   | 化した。新型コロナやポストコロナ社   |   |
|    |              | 関する研究促進等を目的とする本協  | 会に関する研究促進等を目的とする本   |   |
|    |              | 定に基づき、50年後の社会をテーマ   | 協定に基づき、50年後の社会をテーマ  |   |
|    |              | に多角的な議論を行う異分野融合研  | に多角的な議論を行う異分野融合研究   |   |
|    |              | 究会や学生対象のオンラインフィー  | 会や学生対象のオンラインフィールド   |   |
|    |              | ルドワークを開催するなどの成果を  | ワークを開催するなどの成果を上げ  |   |
|    |              | 上げた。  | た。  |   |
|    |              | これにより、国際・国内共同研究プ  | これにより,国際・国内共同研究プロ   |   |
|    |              | ロジェクト事業については, 研究プロ  | ジェクト事業については、研究プロジ   |   |
|    |              | ジェクト 27 件, 政府統計匿名データ  | ェクト 27 件, 政府統計匿名データ利用   | 脱字のため   |
|    | 10           | 利用プログラム6件,参加型研究プロ   | 促進プログラム6件、参加型研究プロ   |   |
| 05 | p.18         | ジェクト 15 件の合計 48 件を実施し,  | ジェクト 15 件の合計 48 件を実施し,  |   |
|    |              | 「国際・国内共同研究プロジェクトを   | 「国際・国内共同研究プロジェクトを   |   |
|    |              | 35 件以上実施する」とした年度計画  | 35 件以上実施する」とした年度計画を   |   |
|    |              | を上回った。  | 上回った。   |   |
| 06 |              | 2021 年7月に経営管理研究科経営管   | 2021 年7月に経営管理研究科経営管   |   |
|    | m 20         | 理専攻及び国際企業戦略専攻の両専  | 理専攻及び国際企業戦略専攻の両専攻   | 記載の <b>然一</b> のため                               |
|    | p.20         | 攻において,国際認証評価(AACSB)   | において、 <mark>国際認証</mark> (AACSB)を取得                              | 古山東大・シフが山   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
|    |              | を取得した。  | した。   |   |
| 07 | n 99         |   | <u>*</u>  | 記載漏れのため   |
| 07 | p.22         | •   | <b>•</b>  | 日に中央い内なりマンノにマン                                  |
| 07 |              |   | FIWY 表現ます (AA CCD) 時(担)を仕りませりよ A T                              |   |
| 07 | p.22         | 国際認証評価 (AACSB) 取得に向け,   | 国際認証 (AACSB) 取得に向け、AoL  | 記載の統一のため  |
| 06 | p.20<br>p.22 | 2021 年7月に経営管理研究科経営管理専攻及び国際企業戦略専攻の両専攻において、国際認証評価 (AACSB)を取得した。 | 2021 年7月に経営管理研究科経営管理専攻及び国際企業戦略専攻の両専攻において、国際認証(AACSB)を取得した。  ★ ◆ | 記載の統一のため  |

## 正誤表 (達成状況評価)

|  | ルを通じた教育内容やカリキュラム | 通じた教育内容やカリキュラム等の見 |  |
|--|------------------|-------------------|--|
|  | 等の見直しを継続的に実施した。  | 直しを継続的に実施した。      |  |